

令和5年度第7回(第248回)隠岐の島町教育委員会会議録

1. 開 催 日 時 令和5年10月27日 午前9時00分

2. 開 催 場 所 隠岐の島町役場 3階 301会議室

3. 出 席 委 員 教 育 長 野津 浩一
教育委員 山下 豊範
教育委員 常角 敏
教育委員 谷田 一子
教育委員 藤野 雅栄

4. 欠 席 委 員 なし

5. その他の出席者 総務学校教育課長 金井 和昭
社会教育課長 中村 恒一
中央公民館長 田中 拳
総務学校教育課長補佐 藤田 志生
総務務学校教育課企画幹 大上 達也

6. 開 会 宣 言 事務局職員が出席者及び資料の確認をした後、教育長は開会を宣言した。

7. 教育長報告要旨 教育長は前回の教育委員会の会議から本日までの主な事項を報告した。

ー報告要旨ー

○ 9月30日の「輝け11しまね町村フェスティバル」に、町長の代理として出席した。本イベントは島根県内11町村が松江市に一同に集い、PRを行う場として毎年行われているもの。当初の目的がある程度達成されたことから本年が最後の開催となった。

○ 10月6日開催の島根県総合教育審議会では、引き続き江津高校と江津工業高校の統合の答申案について議論された。

○ 10月14日、松江市からLGBTQの方を講師としてお招きしての島根県同和教育推進協議会連合会隠岐ブロック研究集会には約80人の参加者があり、本町の人があまり馴染みのない事柄を学ぶ良い機会となった。

○ 10月16日、大相撲八角部屋隠岐合宿「感謝の集い」には君ヶ浜親方、隠岐の富士に来ていただき、トークショーや関係者への表彰、もち投げなど盛大な催しとなった。

○ 10月25日には、町民の健康づくりを図るため「ふれあいエンジョイグラウンドゴルフ大会」を開催した。43人の参加があり、今後も生涯教育の推進を図っていきたい。

(谷田教育委員) 島根県同和教育推進協議会連合会隠岐ブロック研究集会は良い企画だったと感じている。私たちは馴染みがないと思っていても、狭いコミュニティだからこそ言えずに悩んでいる人も

いると思われる。このような機会を増やすことで、風通しが良くなることに期待したい。

8. 議 事

【議第1号】 令和4年度事業教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について

○ 議第1号の「令和4年度事業教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について」、事務局職員の説明の後、審議を求めた。

－説明要旨－

（金井総務学校教育課長） 報告書(案)について、教育委員の皆様からいただいたご意見を整理、調整して掲載し、事前にお配りしたところである。

－質疑応答－

（常角教育委員） 学校図書充実事業について、図書貸出冊数が減少し、読書活動推進の取組を進めていく必要性が課題として記載されているが、そのためには児童生徒自身による主体的な取組が大きな効果を生むものとする。児童会や生徒会を活用して、学級の取組と連携させ、児童生徒自身が取組状況を点検評価していき、この活動を教員が支援していく取組が重要と考える。

（金井総務学校教育課長） 各学校の司書教諭や、教育委員会が配置している学校司書、その他の教員で連携を取り、児童生徒の思いに耳を傾けながら、さらなる充実を図っていきたい。

（野津教育長） 学力調査において、算数の問題を解くにも「読み取る」力の重要性を感じるものが非常に多い。図書室や読書活動推進の重要性をあらためて感じており、またそのために今年度からは新聞を活用した取組を求めているところでもある。

（藤野教育委員） 放課後子ども教室が週に1～2回程度であるが、放課後や長期休暇時の子供の安心安全を確保する取組を充実していく必要があるものと考えており、福祉部門との連携が不可欠と考えている。先般、町の子育て交流センターを見たが、西郷小学校校区のニーズにも応えられるとは思えない。また、その他の地域をどうするかも課題となるなか、私としては、公民館が基軸になるべきではないかと考えている。

（中村社会教育課長） 放課後子ども教室は、体験の場であり、見守りの場と考えており、一方で福祉としては見守りの要素が強い。必要性は十分に認識しているが、人材不足の問題もあり、なかなか良案が浮かばないのが現状と考えている。

（常角教育委員） 障がいのある児童の放課後や長期休業時の居場所づくりも大きな課題となっており、解決するための取組の充実を望む。

（藤野教育委員） 障がいのある児童もちろんだが、すべての子どもたちの居場所づくりを検討するうえでは、公民館が適所ではないかと考えている。人材不足の問題については、長期休業時の場合、支援員の活用も検討できるのではないかと考えている。

（野津教育長） 松江市等では公民館の施設を活用して、民間事業者が児童クラブを運営している例も聞いている。取組の充実強化の認識は感じており、今後、別の機会に協議していきたい。

（常角教育委員） 公民館活動振興事業について、公民館活動は趣味・スポーツなどに特化しがちであるが、住民のニーズに応えるだけでなく、人権・環境・高齢化社会など現代的課題の学習の機会を分館とも連携しながら積極的に取り組んでいくべきと考えている。

（田中中央公民館長） 公民館は、地域と行政を繋げていく重要な役割を持っているものと認識しており、委員のご意見を課題と受け止めて、今後の活動の充実に向けて努力していきたい。

（常角教育委員） 小学校・中学校教材整備等教育振興事業における「いじめのアンケート」について、アンケートが役立っていることは好ましいことだが、アンケートは学級づくりの成果を検証するものである

ことが筋道ではないかと考えている。

(金井総務学校教育課長) アンケートの結果を学校内で共有し、問題解決のために学級づくりに活用しており、引き続き効果的な活用について指導主事を通じて求めていきたい。

－ 審議結果 －

○ 審議の後、全員の挙手により議第1号について、原案のとおり議決した。

9. そ の 他

【令和5年度第8回教育委員会の開催日時について】

○ 令和5年度第8回、11月の教育委員会の会議については、12月1日月金曜日、午前9時30分から隠岐の島町役場会議室で開催することとした。

【議事録の確認について】

○ 令和5年度第6回教育委員会会議録について、委員全員により確認を行った。

10. 閉 会 宣 言 教育長は閉会を宣言した。

11. 閉 会 日 時 令和5年10月27日 午前9時40分

12. 会議録作成者 総務係 藤田志生

署名日 令和 5年10月27日

隠岐の島町教育委員会 教育長

野津 浩一